

[横浜市民ギャラリー]
令和2年度業務報告及び収支決算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリー
所在地	横浜市西区宮崎町 26-1
構造・規模	鉄筋コンクリート4階建(地下1階～地上4階)
敷地・延床面積	敷地面積 2,301.11㎡、延床面積 3,428.44㎡
開館日	平成26年10月10日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体
代表団体所在地	横浜市中区山下町2番地
代表団体代表者	理事長 近藤 誠一
代表団体設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から令和4年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

第3期指定管理期間の5年目にあたる令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の中の船出となりました。管理運営や事業の経験と蓄積を活かしながら下記の3つの基本方針に沿って、これまで同様に取り組みながらも、新型コロナウイルスという誰にとっても未知の脅威に相対し、試行錯誤しつつ、安心安全を第一に運営を行いました。

【基本方針】

1 文化芸術活動拠点としての機能の強化

年度前半は、急速な新型コロナウイルス感染症拡大のため、予定していた自主事業の展覧会や、施設貸出事業での展覧会も催せない期間が続きましたが、後半からは数は少ないながらも利用のある会期も出てきました。これまで通りの盛況さを取り戻すことはできませんでしたが、自粛や家から外出しないことを求められる中、充分とは言えないながらも、横浜市民ギャラリーにお出かけいただいた方はもとより、外出できない方に対してもオンライン等を介して、文化芸術に触れることで心の栄養が得られる機会を提供できたのではないかと考えます。

2 市民文化活動や創造活動に対する支援の強化

コロナ禍のため、横浜市のガイドラインに準拠した横浜市民ギャラリーガイドラインを策定

し、利用団体や講座の参加者にもご理解とご協力を求め、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ、貸展示室業務を中心とした市民の創造活動のサポートを行いました。通常とは異なる事態のため、これまで以上に丁寧な対応を心がけました。

3 次世代を担う人材の育成の強化

「横浜市こどもの美術展」での中学生、高校生のボランティアや、施設運営に関わる職業体験、大学の生徒・学生インターンなど、これまで力を入れてきた次世代育成のための取組は、4名の就業実習生受け入れ以外は全て新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施することができませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大の状況次第ではありますが、来年度は一部実施を計画しています。

【質の高い施設運営及び管理の実施】

新型コロナウイルス感染症拡大を防止しつつ、3つの基本方針を支えるために、経験豊富なスタッフが、運営面で施設利用者へ丁寧なアドバイスを行うほか、文化施設管理での高い実績を持つ共同事業体として強みを活かし、入館者が安心して創作や鑑賞に励める施設環境を提供しました。

(2) 2年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

新型コロナウイルス感染症という未知の脅威に相対するに際し、横浜市と情報共有はじめ綿密な連携を図りつつ、共同事業体がそれぞれの専門知識を発揮した1年でした。横浜市とはコロナ禍以前にも増して、情報を共有し、迅速に課題に対応するなど、相乗効果の高い施設運営を行いました。

① 事業について

「横浜市こどもの美術展」は開催中止としましたが、STAY HOMEの人々の心にも届くことを願ってオンライン上で新たな展覧会「お休み中の展示室に花を咲かせよう！」を企画しました。同企画には参加できて良かったという声が多数寄せられました。にぎやかな子どもたちの作品が1枚も飾られることのなくなった寂しい展示室に向き合う当館スタッフにとっても、勇気付けられる展覧会となりました。「新・今日の作家展 2020」は「再生の空間」をテーマに、コロナ禍という特殊な状況下と重ね合わせて考えさせられる作品が好評でした。新型コロナウイルス感染症拡大の続く中で自主企画展開催の復活第1弾として、安全性確保の対策を充分にとり実施しました。昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大のため初日で開催中止となった「コレクション展 2020」を、再開催という形で実施した「コレクション展 2021」では、映像コンテンツを作成するなど、更なる内容の充実をはかりました。「大人のためのアトリエ講座」と「ハマキッズ・アートクラブ」は、年度前半については開催中止としましたが、年度後半からは、募集定員を減らすなど安全性確保の対策をしたうえで開催しました。いずれも定員を上回る申し込みがあり、コロナ禍だからこそ期待が寄せられているように思われます。参加者の満足度も高かったです。

② 運営について

新型コロナウイルス感染症拡大のため、年度始めから、初回の緊急事態宣言下の臨時休館を経て、7月初旬まで、ほぼ全ての展覧会は中止となりました。7月中旬からは、数は少ないものの展覧会の開催があり、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに沿った運営を行いました。マスク着用、検温、密を避けるための入場人数制限や待機場所指定、消毒作業など、ご来場者、ご利用者の皆様にとっては、ご不便をおかけすることとなりましたが、これらは全て、お客様ご自身

の安全確保のためでもあるということをご理解いただけるよう、丁寧なご案内に努めました。なかなか止まない国内での感染症拡大状況を鑑みて、当館での展覧会開催を中止する決断をせざるを得なかったご利用団体には、その残念に思うお気持ちに寄り添い、またの機会にきっと開催できる、今は辛抱の時ですよ、といったお声がけをいたしました。今後も多くの方々に長くご愛顧いただけるよう、きめ細やかな対応やサポートを継続してまいります。

③ 管理について

専門職員による通年での施設管理に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応を実施しました。通常の管理業務以外に、令和1年度に受けた台風被害のための改修工事（北側壁面外壁、2階展示室床）、1階エントランス壁面タイル補修、汚水桝改修など、横浜市発注の大規模工事が複数入りましたが、横浜市と工事関係者と連携を密にし、無事に工事を完了することができました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、空調、換気、清掃など多岐にわたる事項について充分な対応を取りながら、常に施設の利用状況に注意を払い、効率性を保ちつつも、快適な空間をお客様に提供することに努めました。またIPMについても、学芸員、設備担当職員、外部専門業者と密な情報共有を行いながら、美術施設としての高い機能を維持しました。

④ その他について

令和2年度は台風による被害はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大という難題が与えられた年となりました。お客様の安全はもちろんですが、お客様を受け入れる側である我々職員も、シフトが組めなくなるような事態を避けるべく、各自の危機管理能力を高め、感染防止に努めてきました。幸い、当館に勤務するスタッフから感染者は出ませんでした。出た場合の対応や応援体制などの想定を行い、万全を期して管理運営を行ってまいりました。年度末を迎えてもコロナ禍終息が見えない中、次年度以降にもこの経験を活かしてまいります。

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業について

ア 発信性のある自主事業の実施について

[目指す成果]

歴史ある展覧会を実施し、市民へ多様な美術の鑑賞機会を提供します。

[成果についての振り返り]

「新・今日の作家展 2020」では、過去に経験したことや知らぬ間に記憶していたものを新しく蘇らせる起点となるような制作を展開する、世代も表現方法も異なる2作家を紹介しました。コロナ禍で来場が困難な方に向けて、また来場者が安心して鑑賞できる環境をつくるため、出品作家インタビューに加え、関連イベントやギャラリートークを映像収録してオンライン公開し、より多くの方が展覧会を楽しむ工夫をしました。

「コレクション展 2021」では、港と水辺をテーマに油彩、日本画、版画、写真等から55点を紹介しました。展覧会は4セクションおよび横浜出身の日本画家・牛田雞村の作品3点の特別展示で構成しました。また新たな取組として「学芸員による見どころ紹介」、「鑑賞サポーターのPICK UP!」の2つの映像コンテンツを作成し、会場およびオンラインで公開しました。

両展覧会ともに鑑賞を深めるツールとして、作品解説や作家インタビュー、略歴等を掲載するなどした充実した内容の小冊子を制作・無料配布しました。

<p>●「今日の作家展」のWEB公開を目的としたアーカイブの実施</p> <p>●収蔵作品等の積極的な公開とアーカイブの実施</p>	<p>□入場者数 4,000名</p> <p>□関連企画 2事業</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>■「今日の作家展」の記録の整理</p> <p>□関連作家等へのインタビューの実施：インタビュー実施1名</p> <p>□収蔵作品の作家をピックアップし、インタビューの実施：インタビュー実施1名</p>	<p>横浜出身の日本画家・牛田雞村の作品を3点同時に展示する特別展示で構成しました。本展は昨年度の同内容の展覧会が新型コロナウイルス感染症拡大のために会期2日目以降中止となったことから再度開催したものです。今年度の新たな取組として「学芸員による見どころ紹介」と「鑑賞サポーターのPICK UP!」の2つの映像コンテンツを作成し、会場内およびオンラインで公開しました。また横浜の美術史形成当事者による貴重な証言である出品作家インタビューは版画家の柴田昌一氏で実施しました。この内容は会場で無料配布するリーフレットにテキストを掲載するとともに会場、ホームページで公開しました。リーフレットには全出品作家の略歴と昨年度の鑑賞サポーターが作成した作品中に登場する市内のスポットを紹介するマップを掲載し、鑑賞・作品理解の一助となる内容となりました。関連ワークショップや鑑賞サポーターによるトークも好評を得ました。</p> <p>□入場者数 2,799名</p> <p>□関連企画 4事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度小冊子プレゼント（7～8月） ・ワークショップ「木版画摺り体験 摺りであらわす水辺の情景」（3/6） ・ハマキッズ・アートクラブ「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」（3/14） ・鑑賞サポーターによるトーク（3/14） <p>□顧客満足度 4.4</p> <p>■「今日の作家展」の写真アルバムのデータベース化を進めました。</p> <p>□2名（地主麻衣子、山口啓介）の収録を実施し、インタビュー映像をホームページで公開、小冊子にテキストを掲載しました。</p> <p>□1名（柴田昌一）の収録を実施し、「コレクション展2021」の会場で上映、ホームページで公開、リーフレットにテキストを掲載しました。</p>
--	--	--

<p>●インターン制度の継続実施</p>	<p>■学芸員や教育普及者、実技指導者を目指している学生を対象としたインターン制度を継続実施し、希望に応じて受け入れます。</p> <p>□特別支援学校の学生を対象に、美術施設としてのビルメンテ実習を行います。 特別支援学校インターン生 4名受け入れ</p>	<p>■感染症の影響によりインターン募集を行うことができませんでしたが、令和3年度の募集に向け、内容を検討しました。</p> <p>□4名を受け入れました。 特別支援学校の生徒の就業支援となるよう、清掃業務やビルメンテナンスの体験実習生として、2回、3名、学校生徒ではありませんが、若手成人の就労研修として1名、延べ25日間に渡って、合計4名を受け入れました。</p>
<p>●横浜市の文化事業との積極的な連携</p>	<p>□「横浜芸術アクション事業」に寄与する事業を展開：1事業</p> <p>□「フォト・ヨコハマ2021」との連携：1事業</p>	<p>□1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(中止) 大人のためのアトリエ講座「レクチャー 現代美術 ミスティックベイー横浜をあらわす手法ー」(8/29)、講師：田村友一郎(アーティスト、ヨコハマトリエンナーレ2020出品作家) ・「写真が〈魔術〉だったころー最初期の写真・ダゲレオタイプ(銀板写真)講座+映像詩『オシラ鏡』上映会」(2/13)、講師：新井卓(写真家、アーティスト、映画作家、ヨコハマトリエンナーレ2020出品作家) <p>参加者数16名、顧客満足度4.6</p> <p>□1事業(再掲)</p> <p>フォト・ヨコハマの開催に合わせ、大人のためのアトリエ講座では、横浜にゆかりのある写真家に焦点を当てました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「写真が〈魔術〉だったころー最初期の写真・ダゲレオタイプ(銀板写真)講座+映像詩『オシラ鏡』上映会」(再掲) ・フォト・ヨコハマへの協力として、民間画廊にフォト・ヨコハマへの参加を呼びかけました。「画廊散歩」では1～3月号で写真展をクローズアップして掲載しフォト・ヨコハマを盛り上げたほか、広告掲載も行い広報面でも協力しました。
<p>●鑑賞サポータ</p>	<p>□コレクション展におけるサ</p>	<p>□年1回実施</p>

一の育成及び活用	ポーターの活用 サポーターによる作品紹介 年1回	育成研修を3回実施(12/19、2/6、3/7)し、鑑賞サポーター4名(ボランティア3名、当館スタッフ1名)が活動しました。サポーターがおすすめ作品を紹介する映像「鑑賞サポーターのPICK UP!」を制作し、展示室でのトーク(3/14)を実施しました。1/16の研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、リモートでの指導に代えました。
----------	--------------------------------	--

イ 次代を担う子どもの創造性教育事業の実施について

<p>[目指す成果] 作品発表の場、文化芸術の体験の場を提供し、様々な経験を得て、自立の仕方を学べる場とします。</p> <p>[成果についての振り返り] 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「横浜市こどもの美術展 2020」が中止となりましたが、代替事業として二つのオンライン企画を催しました。子どもから大人まで参加できる創作活動の発表の場「お休み中の展示室に花を咲かせよう!」および、「横浜市こどもの美術展」の歴史や参加者から募集したメッセージを紹介する「横浜市こどもの美術展 未来へつなぐ History & Memory」の2事業により、外出のままならない状況のなかでも美術を通して市民との交流を創出することができました。</p> <p>ハマキッズ・アートクラブや横浜市芸術文化教育プラットフォームでも同様に中止となる事業がありました。コロナ禍においても子どもたちが自らの手を動かし、考え、創造する体験を得られる機会を提供するため、感染状況を鑑みながら定員の調整や消毒などの対策を行い、事業を開催しました。規模は通常時より縮小しながらも、このような体験の場を着実に設けることが子どもの成長に欠かすことができないものであること、また参加者のニーズも高まっていることが感じられ、子どもを対象とする事業の開催意義が改めて確認されました。</p>		
<p>[取組内容] ● 「横浜市こどもの美術展」の実施と新たな取組</p>	<p>[達成指標] □横浜市こどもの美術展 2020</p>	<p>[実施内容と達成状況] □横浜市こどもの美術展 2020(7/24-8/2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代替2事業(オンライン企画)を実施しました。 【代替事業①】「お休み中の展示室に花を咲かせよう!」(5/14~6/10)。参加者が制作した花の絵や工作の写真を募集してプリントアウトしたものを展示室B1に掲示、作品が増えていく展示室の様子を期間中SNSで日々配信しました。全国各地や海外から、1歳から93歳までと幅広い層の参加があり、作品とともに多くのメッセージが寄せられるなど反響を得ました。参加者数のべ204名(うち12歳以下のべ61名[アンケート回答者のみ])。 【代替事業②】「横浜市こどもの美術展 未来へ</p>

<p>●子どもの文化芸術の体験の場の提供と新たな取組</p>	<p>□入場者数 15,000 名 □出品数 2,300 点 □関連企画 1 事業</p> <p>□顧客満足度 4.0 以上 ■ < テーマ部門 > の設定 オリンピック開幕にあわせ「スポーツ」部門を設定 ■自分でやってみる場の設置：ワークショップスペースの設置 □サポーターの募集、育成 育成研修 年1回 □コレクションを活用した子どものための展覧会 年1回 □ハマキッズ・アートクラブ 全10回 (横浜芸術アクション関連講座1回を含む)</p>	<p>つなぐ History & Memory」(募集：5/30～7/5、ホームページ公開：8/13～)。半世紀以上の歴史がある横浜市こどもの美術展にまつわる思い出やメッセージを募集し、本展の歴史とともに紹介するウェブ特設ページ「横浜市こどもの美術展 未来へつなぐ History & Memory」を公開しました。出品者、ボランティア、アルバイトスタッフなどから貴重なメッセージが寄せられ、展覧会を通じたコミュニケーションの機会を創出しました。参加者数8名。</p> <p>□中止 □中止 □以下全て中止 ・こどものためのコレクション展(7/24-8/2) ・自由参加ワークショップ「オリジナルメダルをつくろう！」(7/24-8/2) ・ハマキッズ・アートクラブ作品展示(7/24-8/2) ・夏のこども音楽会</p> <p>□中止 ■中止 ■中止 □中止 □中止 □ハマキッズ・アートクラブ 全5回 年齢に応じた様々なプログラムを提供し、活動を通じて子どもたちに「自分で考える」「自分で決める」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験する機会を提供しました。前期の5講座は中止、後期の5講座は定員を減らすなど感染対策を十分に行った上で開催しました。また、作品鑑賞</p>
--------------------------------	--	--

	<p><input type="checkbox"/>親子対象講座 年3回</p> <p><input type="checkbox"/>年長児対象講座 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>小学校低学年対象講座 年3回</p> <p><input type="checkbox"/>小学校高学年対象講座 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>参加者数 200名</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 4.0以上</p>	<p>を盛り込んだ新規講座を行いました。</p> <p><input type="checkbox"/>親子対象講座 年1回</p> <p>①「紙であそぼう！紙でつくろう！」(2/21)、講師：三ツ山一志(造形教育家)、参加者数10組20名、顧客満足度5.0</p> <p>・(中止)「土粘土であそぼう」(4/25)、講師：横田佳子(当館エドゥケーター)</p> <p>・(中止)「えのぐであそぼう」(5/17)、講師：山田佐映子(ワークショップユニット「うめぐみ」主宰)</p> <p><input type="checkbox"/>年長児対象講座 年1回</p> <p>①「声を描いてみよう！」(12/6)、講師：扇谷一穂(ミュージシャン、アーティスト)、参加者数9名、顧客満足度4.9</p> <p>・(中止)「ステキなステッキをつくろう」(9/12)、講師：大竹美佳(造形作家)</p> <p><input type="checkbox"/>小学校低学年対象講座 年2回</p> <p>①「スチロールアート」(1/24)、講師：宇田川純子(アーティスト)、参加者数11名、顧客満足度4.8</p> <p>②「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」(3/14)、講師：河上祐子(当館学芸員/エドゥケーター)、参加者数8名、顧客満足度4.9</p> <p>・(中止)「アートリンピック スポーツを等身大アートで表現しよう！」(7/5)、講師：LITTLE ARTISTS LEAGUE(アート団体)</p> <p>・(中止)「森のペンとノートをつくろう」(8/22)、講師：泉桐子(日本画家)</p> <p><input type="checkbox"/>小学校高学年対象講座 年2回</p> <p>①「油絵に挑戦！」(11/28)、講師：東麻奈美(アーティスト)、参加者数14名、顧客満足度4.9</p> <p>②「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」(3/14)(再掲)、講師：河上祐子(当館学芸員/エドゥケーター)</p> <p>・(中止)「アートリンピック スポーツを等身大アートで表現しよう！」(7/5)、講師：LITTLE ARTISTS LEAGUE(アート団体)</p> <p><input type="checkbox"/>全講座の参加者数62名</p> <p><input type="checkbox"/>全講座の顧客満足度4.9</p>
--	--	---

<p>●横浜市の文化事業との積極的な連携</p>	<p>□ハマキッズ・アートクラブにおいて、「ヨコハマトリエンナーレ 2020」に興味を持てるような講座を行います 1 事業実施</p>	<p>□中止 「アートリンピック スポーツを等身大アートで表現しよう！」(7/5)、講師：LITTLE ARTISTS LEAGUE(アート団体)</p>
<p>●横浜美術館、横浜市民ギャラリーあざみ野の子ども事業との連携</p>	<p>□3館で事業連携をし、講座内容や対象年齢を考慮した講座の開催。申込受付方法等改善のための情報交換。 企画会議：年1回実施</p> <p>■3館での相互広報の体制作り：応募の落選者へ他館の講座を知らせる仕組みの継続。(28年度から継続実施)</p>	<p>□年5回 次年度の事業連携に向けた打合せや、各館の講座内容やコロナ禍での運営方法等の情報共有のためのオンライン会議等を行いました (9/9・13、11/25、1/16、3/24)</p> <p>■応募の落選者に他館の講座を周知し、他館の事業への参加促進に寄与しました。</p>
<p>●親子講座の開催</p>	<p>□親子で造形を楽しむ講座を開催：年3回実施</p>	<p>□年2回</p> <p>①「紙であそぼう！紙でつくろう！」(2/21)(再掲)、講師：三ツ山一志(造形教育家)</p> <p>②コレクション展関連イベント「木版画摺り体験摺りであらわす水辺の情景」(3/6)、参加者数13名、顧客満足度5.0</p> <p>・(中止)「土粘土であそぼう」(4/25)、講師：横田佳子(当館エデュケーター)</p> <p>・(中止)「えのぐであそぼう」(5/17)、講師：山田佐映子(ワークショップユニット「うめぐみ」主宰)</p> <p>・(中止)「親が知っておきたい～紙あそび・お絵かきあそび～」(6/25)、講師：横田佳子(当館エデュケーター)</p>
<p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力</p>	<p>■横浜市芸術文化教育プラットフォームへの協力 学校プログラムの実施 年1回以上</p>	<p>■横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムに全面協力しました。(全2校5回)</p> <p>① 横浜市立並木第一小学校6年73名(10/9、16 「わくわく DokiDoki 土粘土～全身で土粘土とかかわり、そのよさを感じながら世界に一つのなみいち土器をつくろう！～」講師：山田佐映子(ワークショップユニット「うめぐみ」主宰))</p> <p>② 横浜市立上星川小学校個別支援級のべ 55名</p>

		<p>(11/17、12/15、16「自分でするって楽しい！」 講師：三ツ山一志(造形教育家))</p> <p>・(中止) 横浜市立中尾小学校4年生(1/26、27 「宇宙をつくろうー墨×和紙でアートに挑 戦！」講師：泉桐子(日本画家))</p>
--	--	---

ウ 市民やアーティストの創造活動支援の実施について

<p>[目指す成果]</p> <p>実技と教養の講座を開催し、展覧会事業に加え、“美術”をめぐるアプローチを多く提供して美術ファンのすそ野を広げます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>大人のためのアトリエ講座では、これまでの人気講座(クロッキー、デッサン、日本画)、昨年度に試み好評だった講座(油絵連続講座、乳幼児を持つ保護者を対象とした創作のためのレクチャー)などを企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために前期の全ての講座を開催中止としました。後期では、定員人数を絞り、十分な感染対策を講じたうえで創造活動の場を提供しました。参加申込者数が多いことから、コロナ禍においても、創造活動に対するニーズは衰えていないことが分かります。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●利用団体等が行う活動の支援の充実</p> <p>・利用団体への丁寧な相談・助言</p> <p>・利用団体の展覧会についての積極的な広報</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■事前打ち合わせを実施</p> <p>■「ヨコハマ・アートナビ」「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」での事前広報</p> <p>■「ヨコハマ・アートナビ」への情報提供</p> <p>□「アートヨコハマ」年3回発行</p> <p>□「横浜画廊散歩」月1回発行</p> <p>■ホームページでの展覧会の紹介：会期初日にホームページ上で公開</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■展覧会開催1か月前に事前打ち合わせを実施したほか、随時相談に応じ、展覧会終了までサポートしました。</p> <p>■利用団体の展覧会情報を横浜市民ギャラリーの情報誌やホームページ上に掲載するとともに、LOD化されている「ヨコハマ・アートナビ」へ情報提供するなど、積極的な広報支援に努めました。</p> <p>■「ヨコハマ・アートナビ」への情報提供を毎月実施しました。</p> <p>□「アートヨコハマ」年3回発行(6月、8月、1月)</p> <p>□「横浜画廊散歩」毎月発行を予定していましたが、5月号、6月号は新型コロナウイルス感染症拡大のため休館する画廊が急増したため休刊しました。</p> <p>■横浜市民ギャラリーを利用する全ての団体の展覧会期初日に会場の様子を撮影し、ホームページで公開するとともにSNSでも画像やハッシュタグを付ける等の工夫をしながら発信し、広報に協力しました。</p>

<p>●文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p> <p>・文化芸術の体験の場としての講座等の実施</p>	<p>□大人のためのアトリエ講座 全 11 講座</p> <p>□つくって学ぶ 年 7 講座</p> <p>□きいて学ぶ 年 3 講座</p>	<p>□大人のためのアトリエ講座 全 5 講座</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期 6 講座は全て中止となりましたが、後期講座は全て定員を超える応募がありました。</p> <p>□つくって学ぶ 年 4 講座</p> <p>①「オープスタジオ・人体クロッキー（着衣）A コース」（11/19、11/26、12/3、12/10）、参加者数 15 名、顧客満足度 4.0</p> <p>②「オープスタジオ・人体クロッキー（着衣）B コース」（1/21、1/28、2/4、2/11、参加者数 16 名、顧客満足度 4.5</p> <p>③「はじめての日本画 絹に描くー若冲の彩色に学ぶ」（2/20、2/27）、講師：武田裕子（日本画家）、参加者数 16 名、顧客満足度 5.0</p> <p>④「横浜市民ギャラリー＋横浜能楽堂連携企画 日本画（板絵体験）と横浜能楽堂見学」（1/16）講師：武田裕子（日本画家）、参加者数（午前の部）14 名、（午後の部）8 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（中止）「人体を描くークロッキーからデッサンへ」（4/16、4/23、4/30、5/7）、講師：坂本龍幸（画家） ・（中止）「はじめての油絵」（5/16、5/30、6/13、6/27）、講師：皆川琴美（画家） ・（中止）「人体を描くーヌードと着衣」（5/21、5/28、6/4、6/11）、講師：清野晃代（画家） ・（中止）「はじめての日本画 絹に描くー若冲の彩色に学ぶ」（9/5）、講師：武田裕子（日本画家） <p>□きいて学ぶ 年 1 講座</p> <p>①「写真が〈魔術〉だったころー最初期の写真・ダゲレオタイプ（銀板写真）講座＋映像詩『オシラ鏡』上映会」（2/13）（再掲）、講師：新井卓（写真家、アーティスト、映画作家、ヨコハマトリエンナーレ2020出品作家）、参加者数 16 名、顧客満足度4.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（中止）「親が知っておきたい～紙あそび・お絵かきあそび～」（6/25）、講師：横田佳子（当館エデュケーター）
---	---	--

<p>・横浜市の文化芸術事業との関連講座の開催</p> <p>○若手芸術家の活動支援(新規)</p> <p>●美術情報の提供及び広報の充実</p> <p>・横浜美術館との情報連携の強化</p>	<p>□参加者数 200名</p> <p>□顧客満足度 4.0以上</p> <p>□「ヨコハマトリエンナーレ2020」に寄与する事業として、大人のためのアトリエ講座で現代アートをテーマにしたレクチャーまたはワークショップを実施。</p> <p>1事業実施</p> <p>■広報連携の実施</p> <p>■横浜市の文化政策上重要な事業については、映像情報等を交えたコーナーを設置し、広報する:会期に合わせ</p>	<p>・(中止)「レクチャー現代美術 ミスティックベイー横浜をあらわす手法」(8/29)、講師:田村友一郎(アーティスト、ヨコハマトリエンナーレ2020出品作家)</p> <p>□参加者数 85名</p> <p>□顧客満足度 4.5</p> <p>□1事業(再掲)</p> <p>・「写真が(魔術)だったころー最初期の写真・ダゲレオタイプ(銀板写真)講座+映像詩『オシラ鏡』上映会」(2/13)(再掲)、講師:新井卓(写真家、アーティスト、映画作家、ヨコハマトリエンナーレ2020出品作家)</p> <p>・(中止)大人のためのアトリエ講座「レクチャー現代美術 ミスティックベイー横浜をあらわす手法ー」(8/29)(再掲)、講師:田村友一郎(アーティスト、ヨコハマトリエンナーレ2020出品作家)</p> <p><新規事業(共催)></p> <p>横浜市民ギャラリー U35若手芸術家支援事業</p> <p>35才以下の若手芸術家の展覧会</p> <p>・泉 桐子 個展「WE CAN' T GO HOME AGAIN」(展示室B1)(8/28-9/6) 入場者数 346名</p> <p>■「横浜画廊散歩」や「アートヨコハマ」では横浜美術館の事業をピックアップし、横浜市民ギャラリーあざみ野とはそれぞれの情報誌で相互に事業を紹介したほか、展覧会会期に合わせてチラシやポスター掲示を効果的な場所に設置し、SNSでの発信等、広報において連携しました。</p> <p>□横浜能楽堂と連携企画で、講座を開催し、双方での広報連携の一助となりました。</p> <p>「横浜市民ギャラリー+横浜能楽堂連携企画 日本画(板絵)体験と横浜能楽堂見学」(1/16)(再掲)</p> <p>■1階エントランス・送迎車内モニターで横浜美術館などの展覧会告知映像を放映し、併せてチラシを配架して広報しました。</p>
--	---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、SNS等の活用による充実しタイムリーな情報発信 	<p>て紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ■空室情報の更新 随時 ■展覧会情報 会期初日に展覧会情報を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ■空室情報をチラシと併用して随時更新しました。 ■利用団体の展示作業が終了し次第、会場の様子を撮影し、ホームページ上で紹介しました。また、SNSでも展覧会を紹介しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌の定期的な発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に情報誌を発行 <p>□「アートヨコハマ」 発行回数：年3回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に情報誌を発行し、ホームページと連動させ、民間ギャラリーを含む横浜市内の展覧会情報を市民に提供しました。 <p>□「アートヨコハマ」（再掲） 年3回（6月、8月、1月） 発行部数：10,000部/回 配布箇所：約400箇所配布</p>
	<p>□「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」 発行回数：年1回</p>	<p>□「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」 年1回（8月） 発行部数：10,000部 配布箇所：約220箇所配布</p>
	<p>□「横浜画廊散歩」 発行回数：月1回</p>	<p>□「横浜画廊散歩」 発行回数：年10回（毎月発行を予定していましたが、5月号、6月号は新型コロナウイルス感染症拡大のため休館する画廊が急増したため休刊しました。） 発行部数：4,500部/月 配布箇所：約220箇所（毎月）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●市民参画等の協働の推進による美術振興の担い手育成 ・ 文化芸術の情報場（＝情 	<ul style="list-style-type: none"> ■ポスター、チラシ、映像等による発信方法の工夫 ■キャッチコピーのバナー掲 	<ul style="list-style-type: none"> ■チラシラックは常に整理に努め、展覧会の内容に合わせたチラシの配架を行い、各地の公募展の案内は「公募要項コーナー」にまとめたり、ポスターもテーマ性をもたせた掲出をするなど、工夫をこらしました。 ■「展覧会はどなたでも無料でご覧いただけま

報コーナー) における発信 の工夫	示による集客の継続	す」というキャッチコピーは、コロナ禍の臨時休館中や入場制限中には相応しくないと考え、掲出を中断しました。
・自主企画展に おけるボラン ティアの活用	□ボランティアの活用 年2回	□ボランティアの活用 年1回(再掲) ・「コレクション展2021」鑑賞サポーター（事前研修12/19、2/6、3/7、トーク3/14）、参加者数3名、のべ11名 ・(中止)「横浜市こどもの美術展2020」ボランティア（7/24-8/2）

エ 創造活動を介した人々のネットワーク形成について

[目指す成果]		
ネットワークの形成により市民施設、機関との関係性を育み、文化芸術活動を市民にとって身近なものとして受け取ってもらえるようにします。		
[成果についての振り返り]		
業務計画通り、様々な市民施設、横浜市立小学校等の教育機関等と相互交流を行い、文化芸術活動を様々な形で市民に向けて発信する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のために一部実施できませんでした。情報誌「横浜画廊散歩」（2か月間休刊）や「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」は、市内の美術関係者と連携しながら発行し、横浜市内の美術振興の一翼を担いました。横浜美術館の展覧会情報や、近隣他施設の情報を館内エントランスのモニター等で放映するなど、他施設との広報連携を引き続き行うとともに来館者へ多彩な情報を伝える取組を実施しました。		
[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
● 関連施設、民間ギャラリー、利用団体、ボランティア、アーティスト、学校教育間での相互交流の実施	・ 関連施設とのネットワーク ■ インターネット情報、印刷物相互配布 通年	■ 関連施設とのネットワークを形成し、ホームページへ施設情報の掲載、展覧会情報や印刷物の相互提供を行いました。また近隣の公共施設5館(県立音楽堂・県立図書館・県立青少年センター・横浜能楽堂・横浜市民ギャラリー)で構成される横浜・紅葉ヶ丘5館連携会議では、ミーティングを定期的に行いました。臨時休館する施設が多く、予定していた企画が中止となってしまいましたが、年度末には印刷物「横浜・紅葉ヶ丘まいらんさんぽマップ」を完成させました。 ・ 黄金町バザールと当館を含めた近隣の施設との地域連携を目指して、定期的にミーティングを行い、連携について検討を重ねました。
	・ 民間ギャラリーとのネット	・ 画廊、美術施設との日々の細やかなやりとりが、

	<p>ワーク</p> <p><input type="checkbox"/>「横浜画廊散歩」発行月 1 回</p> <p><input type="checkbox"/>「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」発行 年 1 回</p> <p>■ 展覧会のホームページへの掲載</p> <p>・ 利用団体との交流</p> <p>■ 貸館利用打合せ実施：通年</p> <p>・ ボランティアの活用</p> <p><input type="checkbox"/>横浜市こどもの美術展、コレクション展にて募集 年 2 回</p> <p>・ アーティスト</p> <p><input type="checkbox"/>大人のためのアトリエ講座の実施 全 10 講座</p> <p><input type="checkbox"/>展覧会の実施 年 3 回</p> <p>・ 学校教育</p> <p><input type="checkbox"/>アウトリーチ 年 1 回</p>	<p>地域とのギャラリーネットワークを形成しています。</p> <p><input type="checkbox"/>「横浜画廊散歩」発行 月 1 回（再掲） 発行回数：年 10 回(毎月発行を予定していましたが、5月号、6月号は新型コロナウイルス感染症拡大のため休館する画廊が増したため休刊しました。)</p> <p><input type="checkbox"/>「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」発行（再掲） 年 1 回(8月)</p> <p>■ 展覧会情報をホームページへ掲載実施したほか SNS でも発信しました。</p> <p>■ 貸館利用打合せを通年で実施しました。</p> <p><input type="checkbox"/>「コレクション展2021」で募集しました。参加者数 3 名。</p> <p>・ (中止)「横浜市こどもの美術展2020」ボランティア（7/24-8/2）</p> <p><input type="checkbox"/>アトリエ講座を 5 講座実施しました。5 講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(再掲)</p> <p><input type="checkbox"/>展覧会を年 2 回実施しました。（「新・今日の作家展2020」「コレクション展2021」）(再掲)</p> <p>・ (中止)「横浜市こどもの美術展2020」</p> <p><input type="checkbox"/>年 5 回（再掲）</p> <p>・ 小学校 2 校 5 回。横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムへ全面協力しました。</p> <p>・ (中止) 小学校 1 校 2 回</p>
--	---	---

(2) 運営について

ア 創造活動の施設の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 公平・公正かつホスピタリティの高い貸出業務</p>	<p><input type="checkbox"/>全展示室利用団体の抽選会 年 1 回</p> <p><input type="checkbox"/>1～5室利用団体の抽選会 月 1 回</p>	<p><input type="checkbox"/>全展示室利用(令和 4 年度)抽選日 3 /25 抽選参加団体：14 団体、決定団体：14 団体</p> <p><input type="checkbox"/>1～5室の利用 毎月 1 回 新型コロナウイルス感染拡大防止のために、利用</p>

<p>・多くの市民に利用してもらえるような公平・公正で、透明性の高い施設貸出</p>	<p>■抽選会後の空室 先着順</p> <p>■直前での利用申込み等には、安全を確認した上での対応を行う。</p> <p>■利用団体からのアンケートを運営に活かすために職員内で情報共有する。</p> <p>□利用団体からのアンケート回収率 80%以上</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的なミーティングの開催 月1回</p>	<p>団体に来館していただいたうえでの抽選会は実施せず、利用希望調整（希望が重複した場合は職員による代行抽選）にて利用枠を決定しました。毎月10日までに決定。</p> <p>■空室の申込は抽選終了後、毎月15日から先着順にて受け付けました。</p> <p>■今年度の実績はありませんでしたが、日常的に直前利用申込みへの対応可能な体制を取りました。</p> <p>■利用団体からのアンケートを職員内で情報共有し、運営に活かしました。</p> <p>□利用団体からのアンケート回収率 100%</p> <p>□施設スタッフ全員での定期的なミーティング 月1回開催(4/8、7/6、8/3、9/9、10/5、11/4、12/10、1/12、2/12、3/8)※5月、6月は密を避けるためメールでの開催</p>
<p>・利用団体への丁寧な相談・助言</p>	<p>■展覧会開催・終了までの利用打合せ・展示作業及び展覧会期間中の運営サポートや広報面でも協力助言し、安心して展覧会が開催できるよう支援</p> <p>□アンケート満足度 4.0以上</p>	<p>■利用者の経験等を鑑みながら、きめ細やかな運営サポートを行い、利用者が安心して展覧会が開催できるよう支援するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以前にも増して丁寧なご案内に努めました。</p> <p>□アンケート満足度 4.3</p>
<p>・利用団体の展覧会についての積極的な広報</p> <p>・エリアを通じた</p>	<p>■「アートヨコハマ」への開催情報の掲載</p> <p>■会場風景をホームページで紹介。展覧会情報をFacebook、twitterに掲載</p> <p>■利用者ごとの柔軟な対応</p> <p>■近隣5館連携など、近隣・コミ</p>	<p>■「アートヨコハマ」のほか「横浜画廊散歩」に開催情報を掲載し、ホームページでも公開しました。また、「ヨコハマ・アートナビ」へ情報提供を行いました。(再掲)</p> <p>■全ての展覧会の初日に会場風景を撮影し、ホームページで紹介したほか、展覧会情報をFacebook、twitterに画像やハッシュタグ付で掲載するなど、利用者の展覧会への広報支援を行いました。</p> <p>■利用者からの作品の展示に関する相談に対応したほか、必要に応じて作業方法を助言するなど、利用者ごとに柔軟に対応しました。</p> <p>■町内会・伊勢山皇大神宮・横浜成田山・横浜市従</p>

<p>施設周知</p> <p>・横浜市民ギャラリーあざみ野との連携による情報提供</p>	<p>ユニティとのリレーションシップによりエリアを通じた施設周知を図る。</p> <p>近隣・コミュニティとの連絡会の開催</p> <p>■広報連携の実施</p> <p>■空室情報の共有の実施</p>	<p>会館と情報交換を定期的に行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢山皇大神宮への当館チラシラックの設置、町内会掲示板へのチラシ掲示を通じ、自主事業の周知にご協力いただきました。 ・近隣の公共施設5館(県立音楽堂・県立図書館・県立青少年センター・横浜能楽堂・横浜市民ギャラリー)で構成される横浜・紅葉ヶ丘5館連携会議では、ミーティングを定期的に行いました。臨時休館する施設が多く、予定していた企画が中止となってしまいましたが、年度末には印刷物「横浜・紅葉ヶ丘まいらんさんぽマップ」を完成させました。(再掲) ・黄金町バザールと当館を含めた近隣の施設との地域連携を目指して、定期的にミーティングを行い、連携について検討を重ねました。(再掲) ・地域のほりがみラリーに協力し、エリアを通じて施設周知を図りました。 ・(中止)野毛地区振興事業協同組合、野毛地区街づくり会、および横浜商科大学の連携によって企画・運営される社会人と大学生の公開講座「野毛まちなかキャンパス」(「新・今日の作家展2020」会期中実施予定) ・(中止)横浜みなとみらいホールオープンデーでのアウトリーチワークショップ「どうぶつお面をつくろう」(8/8) ・(中止)県立青少年センター子どもフェスティバルでのアウトリーチワークショップ「つくってあそぼう」(1/31) <p>■横浜市民ギャラリーあざみ野と相互に情報誌への掲載、チラシ配架、ポスター掲示、SNS発信等の広報連携を実施しました。</p> <p>■空室情報をホームページ上で公開しました。</p>
--	--	---

イ 利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

<p>[取組内容]</p> <p>●適切な施設情報発信等による認知度向上への取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設情報を適切に発信し、施設の認知度アップに取り組む。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ホームページやSNSで展覧会情報、自主事業情報、空室状況、送迎車情報を発信し、施設の認知度アップに取り組みました。「ヨコハマ・アートナビ」、PRタイムズなどのウェブメディアへの施設情報提供など、できる限り周知に努めま</p>
--	---	---

<p>●空室の有効利用等の利用促進のための取組の拡充</p>	<p>■ホームページでの施設情報周知</p> <p>■全展覧会を Facebook、twitter で紹介</p> <p>■利用案内による施設情報周知</p> <p>■積極的な施設貸出の営業</p> <p>■ホームページでの空室情報の随時アップ</p> <p>■美術関係者・団体とのネットワーク拡大により個別に</p>	<p>した。施設利用者が自ら発信できるよう、来場者向けWi-Fiの利用をご案内しました。</p> <p>■「アートヨコハマ」等の情報誌内や、館内お客様用机上での掲示、送迎車や館内入り口での映像内、紅葉ヶ丘の広場や野毛ちかみちの掲示板、さらには青少年センター前の県立施設案内掲示板の一角の当館案内コーナーなど、施設情報を発信できる機会や場所で認知度アップに努めました。</p> <p>■展示室・アトリエのバーチャルツアーをホームページに引き続き掲載したほか、新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインや来館の際のお願いなど、コロナ禍で重要な施設情報については、動画を作成するなど、ホームページで分かりやすいように工夫しました。</p> <p>■発信力を高めるためにホームページ自体の内容の見直しを行い、3月末に新しいホームページに切り替えました。スマートフォン版の新設準備も行いました。</p> <p>■全展覧会を画像やFacebook、twitterで紹介しました。(再掲)</p> <p>■利用の手引きを館内で配架しました。</p> <p>■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な営業をするには至りませんでした。ガイドラインについての丁寧な説明をしたうえでのご利用をお勧めしました。コロナ禍のためにキャンセルされるご利用者には、次回のご利用のご検討をお勧めしました。利用日より半年を切った空室は、10名未満の団体や個人も利用できる運用を継続し、また全展示室利用の抽選の枠を拡大する運用も行い、従来のお客様を大切にしながらも、より広い層のお客様が利用しやすい環境を整えました。</p> <p>■ホームページで空室情報を随時アップし、最新の情報を提供しました。</p> <p>■これまでの施設運営で蓄積した美術関係者・団体とのネットワークを大切に運営につなげてい</p>
--------------------------------	---	--

	<p>営業をかけられる体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■抽選に外れた全利用者への代替案の提案 ■利用希望日より6か月を切った展示室空室は、個人利用を可能とする運用の実施 ■空室の個別の営業活動の実施：横浜近郊の美術系大学への利用案内 ■アトリエに特化した広報物の作成：過去利用団体への利用案内(28年度から継続実施) ■美術関連の学校、学部への周知・営業活動の実施 ■美術に限らずジャンルを超えたアーティストの創造活動支援 	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■抽選（利用調整）に外れた利用者に対しても、別日程での利用を提案するなど、施設の利用を促進するよう努めました。 ■新規でのご利用実績はありませんでした。 ■各校の課外活動自粛要請等もあるなか、引き続き高校・大学の美術学科や書道科などの卒業制作展の発表の場としてご利用いただけました。 ■アトリエ利用促進の告知動画を引き続き館内エントランスモニターや送迎車内モニターで放映し、チラシも館内に配架するなどし、宣伝に努めました。 ■希望者に「利用の手引き」を配布しました。 ■TPAM（国際舞台芸術ミーティングin横浜）のフリンジ会場となりました。舞台公演の稽古場と本公演用に展示室をご利用いただくことで、美術とは異なるジャンルでの利用について協力しました。（オンライン配信で実施）
<p>●利用率の向上と目標指標の達成</p>	<p>令和2年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>来館者目標：25万人 ・利用率 <input type="checkbox"/>展示室：91% <input type="checkbox"/>アトリエ：43% 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>来館者：54,377人 <input type="checkbox"/>展示室：40% <input type="checkbox"/>アトリエ：36% <p>年度始～6月14日までは新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館となったことと、貸館展覧会の開催中止（利用キャンセル）が続いたため、目標達成には至りませんでした。</p>
<p>●要望・苦情への適切な対応とその共有の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■職員ミーティングでお客様への対応の確認：随時 ■お客様へのアンケートの実施と共有：通年 ■苦情・要望の分析と共有： 	<ul style="list-style-type: none"> ■お客様対応の確認について日常的に議題にあげ、常に高いサービス実現のために職員一同取り組みました。 ■お客様へのアンケートは全職員に回覧、意見交換などを実施し、情報共有及びサービス向上に努めました。 ■苦情・要望については直ちに職員間で共有し、意

<p>●市民の芸術活動の深化のための取組の実施</p>	<p>随時</p> <p>■速やかな対応と再発防止のための情報共有：随時</p> <p>■横浜市との情報共有：随時</p> <p>■改善事例のホームページ公開：随時</p> <p>■市民が交流し、情報交換や知識収集のできる環境の整備：閲覧スペースの設置 通年</p>	<p>見交換の上、対応等を決定して速やかに対応するとともに再発防止に取り組みました。</p> <p>■横浜市との情報共有を随時行いました。</p> <p>■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、都度変更となったガイドラインをはじめ、コロナ対応関連のご案内表記など、わかりやすい案内に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の一助となるよう、自主事業企画の中でオンラインでもお楽しみいただけるコンテンツを増やしました。</p>
<p>●宮崎町親和会(町内会)や伊勢山皇大神宮、成田山横浜別院との協力体制構築</p>	<p>■町の美化や町内行事の参加だけでなく、一緒に施設のPR等を実施</p> <p>■宮崎町親和会での事業周知：通年</p> <p>■伊勢山皇大神宮の参拝客へのアピール：通年</p>	<p>■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、エントランス内の机・椅子を最低限に減らし、美術図書コーナーを今年度はやむなく閉設しました。チラシラック等はコンパクトにまとめ、各地の展覧会情報を見ることのできるスペースとして通年設置しました。チラシラックは常に整理し、開催中の展覧会の内容に合わせて配架ジャンルやレイアウトを工夫しました。</p> <p>■町の美化行事への参加だけでなく、町内会の掲示板にてチラシを掲示していただくなど、一緒に施設のPR等を実施しました。(再掲)</p> <p>■町内会掲示板へのチラシ掲示により、自主事業の周知に通年でご協力いただきました。(再掲)</p> <p>■伊勢山皇大神宮に当館のチラシラックを設置していただき、ポスター掲示とともに参拝客へのアピールを通年行いました。(再掲)</p>
<p>●送迎車の最適な運用の実施</p>	<p>■成田山横浜別院との情報交換 通年</p> <p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した)無料の送迎車を走行。原則、障が</p>	<p>■町の美化行事への参加だけでなく、町内会の掲示板にてチラシを掲示していただくなど、一緒に施設のPR等を実施しました。(再掲)</p> <p>■町内会掲示板へのチラシ掲示により、自主事業の周知に通年でご協力いただきました。(再掲)</p> <p>■伊勢山皇大神宮に当館のチラシラックを設置していただき、ポスター掲示とともに参拝客へのアピールを通年行いました。(再掲)</p> <p>年末年始には、伊勢山皇大神宮への参拝客のために自宅から車両を出庫できなくなるエリアにお住まいの近隣の方々のために、当館の駐車場を貸し出すことで、神社との連携も深めています。</p> <p>■成田山横浜別院との情報交換を毎月行いました。</p> <p>■桜木町駅と横浜市民ギャラリー間で(車いす利用者等の利用にも配慮した)無料の送迎車を2年度も引き続き走行し、アクセス改善の一助としました。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策</p>

	<p>い者、高齢者を優先とするサービス。アクセス改善の一助とする。</p> <p>■展覧会に即して着実に運行</p> <p>■館内、ホームページで周知</p> <p>■運行データの収集</p>	<p>を十分にしたうえで、安心してご利用いただきました。</p> <p>■展覧会の開始終了時刻を細やかに確認しながら、着実に運行しました。</p> <p>■2年度も引き続き、館内、ホームページ、野毛ちかみちの掲示板に乗り場や時刻表など掲載したほか、チラシとポケット時刻表を桜木町駅の観光案内所で配布していただくなど、送迎車の周知に努めました。ホームページでは、従来のお知らせ欄に加え、3月からは専用のバナーも設け、情報への到達がより容易となるよう工夫した案内を行いました。また、SNSでの発信のほか、「本日の時刻表」を館内に掲示し、よりこまやかにお知らせしました。</p> <p>■運行データの収集を毎月行いました。関係者間で毎月会議を行い、日々のサービス向上に向けて協議しました。</p>
--	--	---

ウ 市民ギャラリー収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

<p>[取組内容]</p> <p>●収蔵作品の適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■作品の定期的な点検確認</p> <p>□作品の棚卸 年1回</p> <p>□館内の継続的なIPM点検による庫内環境の維持(隔月および年1回)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■現収蔵庫搬入前に燻蒸実施後、修復・クリーニング未実施作品の抜粋調査(28点/170点)を専門会社とともに実施しました。(7/7、8、12)</p> <p>■作品点検と簡易クリーニング、撮影を実施しました。(1/7、8)</p> <p>■84点の作品を点検しました。(7/7、8、12、1/7、8、コレクション展2021前後)</p> <p>□作品点検にあわせ、作品の棚卸を実施しました。 年2回</p> <p>□年間を通じIPMの手法に基づき収蔵庫や館内の環境をモニタリングし、状況を把握しました。収蔵庫は学芸職員による原則週1度の定期的な清掃をするとともに、2ヶ月に1度カビのサンプリング等の点検の上、専門業者による分析とフィードバックを継続し正確なデータを蓄積、年に1度専門業者による殺菌を行うほか、必要場合は学芸職員が簡易殺菌を行うなど、環境向上に努めました。</p>
---	--	--

<p>●資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴についてのデータベースの継続的な充実及び台帳の継続的な管理と収蔵作品の公開の実施</p>	<p>■作品データの更新</p> <p>■作品データベースの公開</p> <p>□コレクション展実施</p> <p>□ホームページでの収蔵作品の紹介 12点</p> <p>■作品修復・クリーニングの実施</p> <p>■資料情報、作品の貸出、展示、修復等の履歴についてのデータベースを継続的に更新</p> <p>□コレクション展実施</p> <p>□ホームページでの収蔵作品の紹介 12点</p>	<p>■作品データベースについて、収蔵作品にまつわるデータを随時更新しました。</p> <p>■平成30年度に公開した収蔵作品検索ページを継続して公開・更新しました。</p> <p>□コレクション展2021「うつし、描かれた港と水辺」(3/5-21)(再掲)(展示室1、B1)を実施。</p> <p>□ホームページでの収蔵作品紹介 10点 常盤とよ子《風呂帰り》、五島三子男《「Dialogue」The Memory of the Landscape. 三浦半島「子安の里」にて》、市川保道《緑映(白根不動)》、多田ヒロシ《青い目の人形》、川口栄《薔薇》、斎藤寿一《宙'88 横浜の風A》、佐藤努《山手風景》、渡辺豊重《それゆけモクモク》、加山四郎《港(船の絵)》、由木礼《MM21 Pier》</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「横浜画廊散歩」5月号、6月号を休刊したため、ホームページでの作品紹介も2点少なくなりました。</p> <p>■収蔵作品1件について専門業者による修復を、1件について専門業者によるクリーニングを実施しました。また、3件について専門業者による簡易クリーニングを、修復緊急度の低い書作品28点について、学芸員が自前クリーニングを実施しました。作品点検時も、埃の堆積の見られた作品11件の額裏は、学芸員が簡易クリーニングしました。</p> <p>ポジフィルム劣化等の理由による新規作品図版撮影を、12件実施しました。</p> <p>■作品データベースについて、収蔵作品にまつわるデータを随時更新しました。(再掲)</p> <p>□コレクション展2021「うつし、描かれた港と水辺」(3/5-21)(再掲)(展示室1、B1)を実施。</p> <p>□ホームページでの収蔵作品紹介 10点 常盤とよ子《風呂帰り》、等10点(再掲)記載略</p>
--	--	--

<p>組織的な施設運営のための職務の効率化や職員間の情報共有、業務改善のための会議を定期的に実施すると共に、職員の能力担保のためOJT及び定期的な研修等を実施</p>	<p>□研修 年2回</p>	<p>5月、6月は密を避けるためメールでの開催</p> <p>□研修 年15回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報研修（4/1、14、15、16、5/4） ・2030プロジェクト研修・発表会（9/2） ・専門人材育成研修（9/7、1/22） ・防災研修（9/15、30、10/14、3/6） ・新型コロナウイルス感染対策研修（10/28） ・評価者研修（10/27～1/15） ・プレゼントレーニング研修（11/17） ・普通救命講習会（11/17、26） ・人権研修（11/21） ・階層別研修（11/30） ・人権研修（施設スタッフ向け）（12/10） ・コーチング研修（12/18） ・個人情報保護研修（1/15） ・マーケティング研修（1/22） ・情報セキュリティ研修（3/8） <p>等に参加し、職員間で情報共有しました。</p>
---	----------------	---

オ 本市の重要施策を踏まえた取組について

<p>[取組内容]</p> <p>●個人情報保護についての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の規定及びマニュアル等に基づく適切な取り扱い ・具体的な業務についてルール化し、研修や定期的なミーティングでスタッフの個人情報取扱いに対する意識を高める。 ・メールやFA 	<p>[達成指標]</p> <p>□過失による個人情報流出事故 0件</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□以下の取組を行った結果、事故は0件でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人情報は施錠しての保管やパスワード等、規定やマニュアル等に基づいた取り扱いを行いました。 ■コンプライアンス委員会を中心に研修や情報共有のミーティングを実施しました。 ■ダブルチェックの徹底等、個人情報漏えいの防止
--	--	--

<p>X、郵便物の送付時の個人情報漏えいの防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の適切な管理の徹底 		<p>に最新の注意を払いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人情報の適切な管理を徹底しました。
<p>●情報公開についての取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■規定に基づく適切な対応 ■事業計画書及び事業報告書の財団ホームページでの公開 	<ul style="list-style-type: none"> ■規定に基づき適切な対応を行いました。 ■事業計画書及び事業報告書を財団及び横浜市民ギャラリーホームページで公開しました。
<p>●人権尊重についての取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■全ての人に開かれた施設として人権に配慮した運営や接遇の実施 □横浜市主催の人権講習に職員が参加し、職場内の研修についても人権尊重の意識を高める取組を実施する。 研修 年1回 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修への参加や事例の共有を通じて、人権に配慮した運営や接遇を実施しました。 □横浜市主催の人権研修に参加した職員が講師となり、職場内研修として人権尊重の意識を高める取組を実施しました。 人権研修 年1回実施 (12/10)
<p>●環境への配慮に関する取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■環境への負荷の低減を意識した省エネルギー化、省資源化 ■「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動方針」「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」に基づいた施設管理 □施設内での空気環境測定の実施：1回/2か月 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため空調に負荷がかかる中、全職員が環境への負荷の低減を意識し、業務に支障のない範囲で省エネルギー化、省資源化に努めました。またデマンド監視装置を活用し、効率的な省エネを実現しました。 ■環境対策について横浜市の施策に沿った施設管理を行いました。 □施設内での空気環境測定の実施 1回/2か月 (5/15、7/3、9/8、11/4、1/15、3/3)
<p>●市内中小企業優先発注についての取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■物品購入・委託等は、特別な専門性の必要なもの等の理由がある場合を除き、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」に登録された企業に発注 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務に支障がない限り、横浜市の「物品・委託有資格者名簿」での登録業者に委託・発注しました。複数の振込口座を持つ相手先には横浜市内に本支店を持つ口座を優先的に使用しました。

カ 諸室の利用内容について

[取組内容] ●開館について	[達成指標] □開館について	[実施内容と達成状況] □開館について							
	<table border="1"> <tr> <td>開館日数</td> <td>347日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時～18時</td> </tr> </table>	開館日数	347日	営業時間	10時～18時	<table border="1"> <tr> <td>開館日数</td> <td>274日 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/1～6/14は前年度より引き続き臨時休館。ただし、電話対応は土日を除き実施。)</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>10時～18時</td> </tr> </table>	開館日数	274日 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/1～6/14は前年度より引き続き臨時休館。ただし、電話対応は土日を除き実施。)	営業時間
開館日数	347日								
営業時間	10時～18時								
開館日数	274日 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/1～6/14は前年度より引き続き臨時休館。ただし、電話対応は土日を除き実施。)								
営業時間	10時～18時								

●利用料金について	□利用料金について	□利用料金について																																																																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">展示室</th> <th rowspan="2">面積 (㎡)</th> <th colspan="2">料金/日(円)</th> </tr> <tr> <th>入場 無料</th> <th>入場 有料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下</td> <td></td> <td>170</td> <td>5,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td></td> <td>184</td> <td>5,500</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2階</td> <td>全面</td> <td>396</td> <td>11,500</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>225</td> <td>6,500</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>171</td> <td>5,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3階</td> <td>全面</td> <td>396</td> <td>11,500</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>225</td> <td>6,500</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>171</td> <td>5,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>全室</td> <td></td> <td>1,146</td> <td>33,500</td> <td>67,000</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アトリエ</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>区分利用料金</th> <th>一日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>10:00～13:30 14:00～17:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td>148.6</td> <td>6,500</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>土日祝</td> <td></td> <td>7,500</td> <td>14,500</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>駐車場</td> <td>30分100円</td> </tr> </table>	展示室	面積 (㎡)	料金/日(円)		入場 無料	入場 有料	地下		170	5,000	10,000	1階					1階		184	5,500	11,000	2階	全面	396	11,500	23,000	A	225	6,500	13,000	B	171	5,000	10,000	3階	全面	396	11,500	23,000	A	225	6,500	13,000	B	171	5,000	10,000	全室		1,146	33,500	67,000	アトリエ	面積 (㎡)	区分利用料金	一日			10:00～13:30 14:00～17:30		平日	148.6	6,500	12,000	土日祝		7,500	14,500	駐車場	30分100円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">展示室</th> <th rowspan="2">面積 (㎡)</th> <th colspan="2">料金/日(円)</th> </tr> <tr> <th>入場 無料</th> <th>入場 有料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下</td> <td></td> <td>170</td> <td>5,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td></td> <td>184</td> <td>5,500</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2階</td> <td>全面</td> <td>396</td> <td>11,500</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>225</td> <td>6,500</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>171</td> <td>5,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3階</td> <td>全面</td> <td>396</td> <td>11,500</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>225</td> <td>6,500</td> <td>13,000</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>171</td> <td>5,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>全室</td> <td></td> <td>1,146</td> <td>33,500</td> <td>67,000</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アトリエ</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>区分利用料金</th> <th>一日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>10:00～13:30 14:00～17:30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td>148.6</td> <td>6,500</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>土日祝</td> <td></td> <td>7,500</td> <td>14,500</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>駐車場</td> <td>30分100円</td> </tr> </table>	展示室	面積 (㎡)	料金/日(円)		入場 無料	入場 有料	地下		170	5,000	10,000	1階					1階		184	5,500	11,000	2階	全面	396	11,500	23,000	A	225	6,500	13,000	B	171	5,000	10,000	3階	全面	396	11,500	23,000	A	225	6,500	13,000	B	171	5,000	10,000	全室		1,146	33,500	67,000	アトリエ	面積 (㎡)	区分利用料金	一日			10:00～13:30 14:00～17:30		平日	148.6	6,500	12,000	土日祝		7,500	14,500	駐車場
展示室	面積 (㎡)			料金/日(円)																																																																																																																																									
		入場 無料	入場 有料																																																																																																																																										
地下		170	5,000	10,000																																																																																																																																									
1階																																																																																																																																													
1階		184	5,500	11,000																																																																																																																																									
2階	全面	396	11,500	23,000																																																																																																																																									
	A	225	6,500	13,000																																																																																																																																									
	B	171	5,000	10,000																																																																																																																																									
3階	全面	396	11,500	23,000																																																																																																																																									
	A	225	6,500	13,000																																																																																																																																									
	B	171	5,000	10,000																																																																																																																																									
全室		1,146	33,500	67,000																																																																																																																																									
アトリエ	面積 (㎡)	区分利用料金	一日																																																																																																																																										
		10:00～13:30 14:00～17:30																																																																																																																																											
平日	148.6	6,500	12,000																																																																																																																																										
土日祝		7,500	14,500																																																																																																																																										
駐車場	30分100円																																																																																																																																												
展示室	面積 (㎡)	料金/日(円)																																																																																																																																											
		入場 無料	入場 有料																																																																																																																																										
地下		170	5,000	10,000																																																																																																																																									
1階																																																																																																																																													
1階		184	5,500	11,000																																																																																																																																									
2階	全面	396	11,500	23,000																																																																																																																																									
	A	225	6,500	13,000																																																																																																																																									
	B	171	5,000	10,000																																																																																																																																									
3階	全面	396	11,500	23,000																																																																																																																																									
	A	225	6,500	13,000																																																																																																																																									
	B	171	5,000	10,000																																																																																																																																									
全室		1,146	33,500	67,000																																																																																																																																									
アトリエ	面積 (㎡)	区分利用料金	一日																																																																																																																																										
		10:00～13:30 14:00～17:30																																																																																																																																											
平日	148.6	6,500	12,000																																																																																																																																										
土日祝		7,500	14,500																																																																																																																																										
駐車場	30分100円																																																																																																																																												

(3) 管理について

ア 施設、設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●P D C Aサイ クルに基 づく、計画的 で高水準な施設 管理業務の実 施</p>	<p>■施設・設備について高水 準で効率的な定期点検及 び日常点検の実施</p> <p>■施設(建築物)、設備、及び 備品の破損、不具合等の 異常時には、利用者の安 全を確保すると共に、施 設の運営に支障をきたす ことのないように適切な 措置を講じ、速やかに報 告する。</p> <p>□設備の過失による運転停 止事故：0件</p>	<p>■経験豊富な専門職員が定期的および日常的に点検 し、利用者の要望や急激な気候の変化に対応でき るよう、施設設備の機能維持に努めました。</p> <p>■異常時には直ちに対応できるよう施設管理職員と 運営職員間の連絡体制を整え、修繕履歴等のデー タを共有・蓄積し、今後役に立てる手立てとしまし た。</p> <p>□設備の過失による運転停止事故：0件</p>
<p>●施設の安全・ 安心・快適環 境維持と長寿 命化対応の実 施</p>	<p>■施設の状態を常に清潔に 保ち、利用者が快適に利 用できるような、管理の 実施</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.0以上</p> <p>□施設ハード面での過失に よる事故：0件</p>	<p>■施設の状態を常に清潔に保ち、利用者が快適に利 用できるような管理を実施しました。展示室の壁 面は定期的な専門施行業者によるメンテナンスの 実施に加え、当館スタッフによるリタッチを実施 し、経費節減をしつつ展示壁をより良い状態で保 つよう努めました。</p> <p>□アンケートでの快適評価 4.6</p> <p>□施設ハード面での過失による事故：0件</p>
<p>●保守点検、備 品管理、環境 維持の実施</p>	<p>■設備管理業務日誌での日 常点検の通年の記録と共 有</p> <p>■備品の適切かつ良好な状 態での管理</p> <p>■廃棄物の排出量を把握 し、減量や分別・リサイク ルに努める。</p>	<p>■日誌や点検記録は担当職員と管理職で回覧共有 し、保管しました。</p> <p>■安全で清潔な施設管理のために備品を常に良好な 状態に保ちました。</p> <p>■環境対策の一環として常に廃棄物の排出量を把握 した上で、減量やリサイクルに努めました。</p>
<p>●収蔵庫の適切 な管理の実施</p>	<p>■空調管理の実施 管理目標値 室温 20℃ (± 5℃)、湿度 50% (±5%)</p>	<p>■空調機器が自動制御ではないため、美術品保護に 必要な温湿度管理のためにデータを蓄積しながら 可能な限り空調管理を実施しましたが、年間93日 は温湿度の目標値未達および超過が発生しまし た。</p>

	<p>■ 収蔵庫内および収蔵庫周辺の定期的な清掃 週 1 回および適宜</p>	<p>■ 学芸職員が原則週 1 回定期的に清掃し、美術品保護及び環境維持を行いました。必要に応じ収蔵庫周辺およびその他の場所の清掃や簡易殺菌を実施しました。</p>
--	---	--

イ 小破修繕への取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 効果的な小破修繕への取組</p>	<p>■ 施設管理に対する全職員の意識の向上</p> <p>■ 全職員及び横浜市との情報の共有</p> <p>■ 全修繕履歴の年度毎のデータ化</p>	<p>■ 情報共有のほか会議で取り上げるなど、施設管理に対する全職員の意識の向上に努めました。</p> <p>■ 修繕に関する施設内での情報共有のほか、モニタリングや設備トラブル報告書を通して横浜市と情報共有をしました。</p> <p>■ 全修繕履歴の年度毎のデータ化を行いました。</p>
<p>● 保守管理の専門技術を活かした、迅速かつ臨機応変な突発修繕への対応</p>	<p>■ 保守管理の専門技術を活かした、突発修繕への速やかな対処</p>	<p>■ 豊富な経験を有する共同事業体の専門職員を中心に、突発的な修繕を必要とされる場合でも速やかに対処しました。</p>
<p>● 多角的視点からの小破修繕箇所の早期発見</p>	<p>■ 定期点検や日常点検、横浜市の施設管理におけるガイドラインに沿った点検・報告等の実施による修繕必要箇所の早期発見・対応により施設の長寿命化を図る。</p>	<p>■ 横浜市の施設管理におけるガイドラインだけではなく、インターネットや他施設の情報など、多角的な知見を得て業務に対応しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとる中であっても、照明設備や空調設備等はこまめに状態を確認して管理し、不要な運転を減らすことで省エネだけではなく機械の長寿命化につなげることができるよう配慮した取組を行いました。</p>

ウ 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 事故防止体制・緊急時のための方針と対策</p> <p>・ 警備スタッフ</p>	<p>■ 警備専門スタッフが午前</p>	<p>■ 人的警備、機械警備とも業務計画通り実施し、施</p>

及び機械警備による切れ目のない万全の警備体制の実施	<p>8時半から午後6時半まで1階受付及び警備室へ常駐し、それ以外の時間帯である午後6時半から翌午前8時半までは機械警備にて万全の警備体制を実施する。</p> <p>■業務の基準に基づく、警備の実施と利用者の入退出の適切な管理</p> <p>□過失による事故 0件</p>	<p>設の安全を図りました。また、運用状況に応じて適切な警備を行いました。</p>
・関連法規等の遵守	<p>■業務を遂行する上で、定められた関連法規等を遵守する。</p>	<p>■業務の基準に基づき、来館者が安心・安全に施設を利用できるよう警備や管理を行いました。</p> <p>□過失による事故 0件</p>
・警備計画及び報告書の作成と適切な報告の実施	<p>■警備計画書及び巡回警備計画書の作成とそれに基づいた警備業務の実施</p> <p>■警備スタッフによる警備及び機械警備の業務日誌の作成と共有</p>	<p>■警備計画書及び巡回警備計画書に沿った警備業務を実施し、安全な施設運営に努めました。</p> <p>■業務日誌を毎日作成及び回覧し、情報共有を図りました。</p>
・施設内外への防犯対策の実施	<p>■警備スタッフによる、施設の駐車場だけではなく周辺道路への防犯対策の実施</p>	<p>■近隣の防犯対策の実施や交通状況への対処など、周辺道路に対しても対応し、地域の一員としての責務を果たしました。</p>
・救急セットやAED等の設置と十分な研修の実施	<p>■救急セットやAEDの完備</p> <p>■AED取扱い研修未受講の新配属スタッフ等を対象に、研修を実施する。</p> <p>■毎日のAEDのセルフメンテナンスチェックの結果の確認</p>	<p>■救急セット及びAEDを完備しました。</p> <p>■AED取扱い研修 年1回実施(11/17、26)</p> <p>■毎日目視によるセルフメンテナンスチェック結果を確認しました。</p>
●インフルエンザ等の感染症対策	<p>■職員による施設内巡回による衛生管理の徹底</p> <p>■インフルエンザ等の流行</p>	<p>■衛生管理の意識を高く持ち、異常時には直ちに報告・対処できる体制にしました。</p> <p>■新型コロナウイルス、インフルエンザ等の予防の</p>

	<p>時における予防のための掲示の実施や消毒剤の設置</p> <p>■鳥インフルエンザへの留意と異常時の迅速な対応</p> <p>■汚物の処理にあたっての準備及び処理時の手袋・マスクの装着の徹底</p>	<p>ための掲示を実施し、体温測定器、手指用消毒液等を設置しました。</p> <p>■鳥インフルエンザの市内での発生はありませんでしたが、新型コロナウイルスに対しては、自主事業の中止、貸館利用者への感染症予防の協力依頼、臨時休館など、横浜市とともにウイルス感染拡大防止に努めました。</p> <p>■汚物の処理にあたっては処理キットを備え、処理時の手袋・マスクの装着を徹底しました。</p>
--	---	---

エ 防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●緊急時の連絡体制・役割分担</p>	<p>■緊急時の対応を明確にし、緊急連絡網を作成し、市に提出する。</p>	<p>■緊急時に迅速に対応できるよう緊急連絡網を作成し、市に提出しました。変更の場合も迅速に再提出を行いました。</p>
<p>●平常時の防災対策</p>	<p>■関連法規に基づいた届出等を行う。</p> <p>■災害時には、危機管理マニュアルに沿った対応ができるように、日頃からの危機意識を向上する。</p> <p>■全スタッフ対象の訓練を実施し、日頃から防災意識を高める。</p> <p>□危機管理マニュアルに基づき、災害時に来館者を安全に誘導できるようスタッフの消防訓練を行う。</p> <p>消防訓練 年2回実施</p> <p>■自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行う。</p> <p>■町内会と防災関連の協議を行い、地域社会での責</p>	<p>■防火管理者を配置し、関連法規に基づいた届出等を行いました。</p> <p>■シフト体制であっても瞬時に災害に対処できるように、出勤者の記名ボードに、災害時の役割を毎日明示することで、常に各自の役割が分かる工夫をしています。</p> <p>■全スタッフがAEDの操作や救命措置を行えるように訓練や講習を実施しました。</p> <p>■横浜市防災センターでの研修を活用した消防訓練に加え、少人数体制での防災訓練や火災を想定した訓練を行いました。</p> <p>□消防・防災訓練</p> <p>年6回実施(7/6、9/15、9/30、10/14、3/6、3/8)</p> <p>■自衛防災組織を設置し、継続的に防災訓練を行いました。</p> <p>■町内会と定期的に会議を持ち、町内会での防災訓練に参加しました。(3/6)</p>

<p>●災害発生時の取組</p>	<p>務を果たす。</p> <p>■関連法令、条例、業務の基準に基づき、来館者の安全確保を最優先とし適切に対応</p> <p>■情報管理の一元化及び適切な報告を行う。</p> <p>■二次災害の発生防止措置の実施と、横浜市等との協議の上で適切な対応を行う。</p>	<p>■大規模地震、火災といった災害は発生しませんが、消防・防災訓練を実施したほか、地震発生時には館内点検を実施しました。また新型コロナウイルス感染症拡大に対してはガイドラインに準拠した対応を行いました。</p> <p>■情報管理の一元化及び適切な報告を行うため日常的に館長への情報集約を実施しました。</p> <p>□大規模地震、火災といった災害の発生はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症については、横浜市との協議のうえで、対策を実施しました。</p>
<p>●帰宅困難者一時滞在施設としての準備等の災害時の取組</p>	<p>■非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄</p> <p>■適切な情報収集による来館者や職員、施設の安全確保</p> <p>■災害鎮静後の危機管理マニュアルに基づく適切な対処と原状復旧体制の確保</p>	<p>■15人×3日分の非常用簡易トイレ、飲料水、非常食、毛布等の備蓄を整えました。</p> <p>■災害時には適切な情報収集を行うことをスタッフ内で確認しました。</p> <p>■災害鎮静後には危機管理マニュアルに基づき適切に対処し、原状復旧体制をとることをスタッフ内で確認しました。</p>

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>●利用率の向上による利用料金収入の増加への取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設の利用率向上により安定した利用料金収入を得ることで経営の健全化に繋げる。</p> <p>令和2年度目標額 11,000,000円</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□昨年度の3月から6月14日まで緊急事態宣言発令に伴い臨時休館となったため、貸館利用は全てキャンセル(全額返金)となりました。その後も、多くの利用団体は新型コロナウイルス感染症拡大を理由に利用をキャンセルされたため、6月に1展覧会(ただしオンライン開催)、7月に1展覧会、8月に3展覧会が開催されるのみと、利用は低調に推移しました。9月からは若干利用率が上がりましたが、12月中旬からの約1か月間は、2階展示室床修繕工事のため展示室の貸出ができない期間となり、利用のない日が続きました。1月中旬以降も2回目の緊急事態宣言下となり展覧会開催を断念される団体が続出しました。その結果、元々</p>
--	--	--

<p>●周知等による 駐車場の利用 料金収入の増 加への取組</p>	<p>□近隣寺社等への周知活動 の実施により駐車場の利 用の増加を目指す。 令和2年度目標額 1,680,000円</p>	<p>100%近かった展示室の高利用率は40%という大 幅に低い利用率が確定値となりました。このため、 利用料金収入の最終的な実績値は目標額を大きく 下回りました。 令和2年度利用料金実績 4,418,582円</p> <p>□伊勢山皇大神宮に当館の駐車場の空き状況を提供 したり、警備スタッフが効率良く車両受け入れを 行いましたが、展覧会の開催がほぼないという状 況下では、乗用車での来場者が激減したため、駐車 場の利用料金収入は目標額を大きく下回りました。 令和2年度実績 913,800円</p>
<p>●助成金・協賛 金・広告料収 入の獲得</p>	<p>□助成金・協賛金の獲得 令和2年度目標額 1,300,000円</p> <p>□広告料 令和2年度目標額 600,000円</p>	<p>□助成金・協賛金の獲得 公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益 財団法人野村財団、独立行政法人日本芸術文化振 興会への申請の結果、不採択</p> <p>□広告料 「横浜画廊散歩」は2ヶ月分を休刊とした分が減収 となりましたが、新しい広告スペースを生み出す 工夫を行ったこと、また多くの広告主に継続して 掲載希望をしていただいたことで、目標を上回る 広告料収入となりました。 令和2年度実績 628,500円</p>
<p>●周知等による 講座料収入の 増加への取組</p>	<p>□独自の事業周知の取組み に加え、財団の広報ネッ トワークや管理運営する 美術系施設間と連携した 周知等により事業参加者 数の増加を目指す。 令和2年度目標受講料</p> <p>□大人のためのアトリエ講 座 1,220,000円</p> <p>□ハマキッズ・アートクラ ブ 300,000円</p>	<p>□ホームページやSNSを利用した周知に加え、財 団の広報ネットワークと連携したより広い媒体へ の周知や施設へのチラシ配架により、事業参加者 数の増加を目指しましたが、新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、前期の講座は全て開催中止 としたため、受講料収入は目標を下回りました。 令和2年度受講料実績</p> <p>□大人のためのアトリエ講座 352,500円 (全11講座中6講座中止、定員削減)</p> <p>□ハマキッズ・アートクラブ 79,800円 (全10講座中5講座中止、定員削減)</p>

<p>●自動販売機の販売収入の増加への取組</p>	<p>□客層の嗜好に合わせた内容を販売することで販売収入の増加を目指す。 令和2年度目標額 350,000円</p>	<p>□展覧会の開催中止による来館者数の激減のため、来館者層を予測しながら販売内容を決定しましたが、目標額は達成できませんでした。 令和2年度実績 58,880円</p>
---------------------------	--	---

イ 経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●発注及び事務の効率化等による経費削減</p> <p>●適切な施設及び設備管理による経費削減</p> <p>●職員の業務の効率化による経費削減</p> <p>●展覧会や講座等の事業にか</p>	<p>■横浜市に準じた経理規程に基づいた、支出を最小限に抑える取組の実施</p> <p>■事務用品の再利用化の推進</p> <p>■広報物の発送の効率化による経費の削減</p> <p>■計画的な経理処理による手数料の削減</p> <p>■施設・設備の効率的な運用による経費削減</p> <p>■施設・設備の現状把握と修繕計画による支出の平準化と修繕費の抑制</p> <p>■早期の修繕実施による長期における経費削減</p> <p>■職員会議や面談による職員の業務の効率化への意識の統一</p> <p>■業務の発注へのコスト意識及び職員の超過勤務削減による経費削減</p> <p>■作家や講師と協働での事業企画による経費削減</p>	<p>■入札や見積り合わせ等、支出を最小限に抑える取組を実施しました。</p> <p>■分別した上、裏紙利用など、資源の再利用に努めたほか、会議等で職員の節約に対する意識を高めました。</p> <p>■発送計画を立て、作業日を集中させるなど、広報物の発送の効率化による経費の削減を実施しました。</p> <p>■計画的な経理処理により手数料の削減を心がけました。</p> <p>■過年度のデータをもとに細やかで効率的な設備運転を実施しました。</p> <p>■日常的に共同事業体間の情報共有を密に行い、現状を把握したうえで計画的に修繕を行いました。</p> <p>■設備担当の日常点検だけでなく、全職員の意識を高め、不具合があれば迅速に報告・対処しました。</p> <p>■日常の勤務状況を踏まえた上で職員会議や面談により、職員の業務の効率化への意識統一を図りました。</p> <p>■入札見積り合わせ等、経理規程に基づきながら契約発注をしたほか、平素から超過勤務削減への職員間の意識を高め、業務に対する経費削減に努めました。</p> <p>■作家や講師に事業の趣旨や意義を伝え共感していただくことで、経費の工夫など経済的にも協力し</p>

<p>かる経費削減</p>	<p>■企業からの現物協賛の受入れ等による経費削減</p>	<p>ていただきました。また講座に必要な備品を当財団内から借用したり、横浜美術館休館に伴い不要となった講座材料を当館で再利用したりするなど経費削減に努めました。</p> <p>■企業に協賛依頼を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、展覧会の中止や、事業内容の変更等があったため、実現には至りませんでした。</p>
---------------	-------------------------------	---

(5) PDCAサイクルの確実な運用

[取組内容]	[達成指標]	
<p>●日報及び月間事業報告書の作成・管理</p>	<p>■各種日報の作成</p> <p>■月報を作成しモニタリング時に提出</p> <p>■各日報、月報を適切に管理保管</p>	<p>■各種日報を作成し、担当部署及び管理職に回覧、情報共有を図りました。</p> <p>■月報を作成しモニタリング時に提出しました。</p> <p>■各日報、月報を適切に管理保管しました。</p>
<p>●業務計画書及び業務報告書の作成・管理</p>	<p>■業務計画書(次年度の業務計画、収支予算)を作成し横浜市に提出</p> <p>■業務報告書(前年度の業務報告及び利用実績、収支決算)を作成し横浜市に提出</p>	<p>■業務計画書(次年度の業務計画、収支予算)を作成し横浜市に提出しました。</p> <p>■業務報告書(前年度の業務報告及び利用実績、収支決算)を作成し横浜市に提出しました。</p>
<p>●業務評価(モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施)</p>	<p>■定期的にモニタリングを実施し、横浜市に運営状況の報告</p> <p>■自己評価の実施</p>	<p>■横浜市の担当者と毎月1回のモニタリングを実施し、運営状況を報告しました。</p> <p>■自己評価を実施しました。</p>

(6) その他

[取組内容]	[達成指標]	
<p>●保険及び損害賠償の取扱い</p>	<p>■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入</p>	<p>■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入しました。</p>
<p>●関係法令の順守</p>	<p>■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守</p>	<p>■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守しました。</p>

<p>●市及び関係機関等との連絡調整</p>	<p>■横浜市とのモニタリングを定期的開催</p>	<p>■横浜市とのモニタリングを定期的開催しました。(4月、5月は紙面開催、6/29、7/28、8/26、9/28、10/26、11/25、1/5、1/28、3/3、4/8)</p>
------------------------	---------------------------	---

【別紙】自主事業一覧

No	実施 時期	主催・ 共催・ 協力等	事業名	会場	事業内容	入場者・ 参加者 数(人) (見込者 数)	実施回 数
1	9/22- 10/11	主催	新・今日の作家展 2020「再生の空間」 [関連事業] ・対談「電気まぶたの世代」(9/26) ・対談「二つの、3月11日/震災後とコロナ後の世界」(10/3) ・出品作家によるギャラリートーク(オンライン公開のみ。10/8～公開中) [映像コンテンツ] ・出品作家インタビュー(地主麻衣子、山口啓介) ・出品作家によるギャラリートーク ・対談「電気まぶたの世代」、「二つの、3月11日/震災後とコロナ後の世界」	展示室 B1、1	1964年から2006年まで開催した現代美術の年次展「今日の作家展」の歴史を継承し、現在進行形の美術を紹介する。 出品作家:地主麻衣子、山口啓介	3,006 (4,000)	1事業 関連事業3事業
2	3/5- 21	主催	コレクション展 2021「うつし、描かれた港と水辺」 [関連事業] ・前年度小冊子プレゼント(7～8月) ・ワークショップ「木版画摺り体験 摺りであらわす水辺の情景」(3/6) ・ハマキッズ・アートクラブ「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」(3/14) ・鑑賞サポーターによるトーク(3/14) [映像コンテンツ] ・出品作家インタビュー(柴田昌一) ・学芸員による見どころ紹介 ・鑑賞サポーターの PICK UP!	展示室 B1、1	港と水辺をテーマに、油彩、日本画、版画、写真等55点を紹介。以下のセッションで構成。 1.写真で見る戦後-昭和のミナト 横浜 2.描かれた横浜港 1940～80年代 3.水辺と人びと 4.港と水辺 アラカルト-版画と漫画の多様な表現 特別展示 牛田雞村の描いた横浜-開港期の風景	2,799 (4,000)	1事業 関連事業4事業
3	7/24- 8/2	主催	横浜市こどもの美術展 2020(中止) [関連事業] ・こどものためのコレクション展(7/24-8/2) ・ハマキッズ・アートクラブ作品展示(7/24-8/2) ・自由参加ワークショップ「オリジナルメダルをつくろう!」(7/24-8/2) ・夏のこども音楽会(日時未定)	展示室 B1、 1、2、3	市内在住・在学の12歳以下の幼児・児童を対象とした無審査の公募展。	0 (15,000)	中止
4	4-3	主催	ハマキッズ・アートクラブ	アトリエ	小学生以下の子どもが対象の造形を	62	5講座

	月				中心とする講座	(200)	(他5講座中止)
5	4-2 月	主催	大人のためのアトリエ講座	アトリエ	専門的な創作活動を体験する造形講座と、芸術文化各分野で活動している方を講師に招く聴講講座。	85 (200)	5講座 (他6講座中止)
6	8/28- 9/6	共催	横浜市民ギャラリー U35 若手芸術家支援事業	展示室B1	35才以下の若手芸術家の展覧会 泉桐子個展「WE CAN' T GO HOME AGAIN」	346	1事業
7	7-2 月	主催	横浜市民ギャラリーアーツフェスティバル事業	アトリエ	ヨコハマトリエンナーレ 2020 に寄与する事業 ・「写真が〈魔術〉だったころー最初期の写真・ダゲレオタイプ(銀板写真)講座 +映像詩『オシラ鏡』上映会」(2/13)、 講師:新井卓(写真家、アーティスト、映画作家、ヨコハマトリエンナーレ2020出品作家) ・【中止】ハマキッズ・アートクラブ「アートリンピック スポーツを等身大アートで表現しよう!」(7/5)(再掲) ・【中止】大人のためのアトリエ講座「レクチャー現代美術 ミスティックペーパー横浜をあらわす手法ー」(8/29)(再掲)	16 (150)	中止
8	通年	主催	5館連携事業「紅葉ヶ丘まいらん」	近隣5施設 (神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂)	・【中止】神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂と連携して回遊性のあるイベントを実施。 ・「横浜・紅葉ヶ丘まいらん さんぽマップ」作成	—	—
9	通年	主催	若葉町・黄金町地域連携	若葉町ウオーフ、黄金町エリアマネジメントセンター他	若葉町ウオーフ、黄金町エリアマネジメントセンター他の施設と連携し、地域で芸術文化の在り方を探る	—	—
10	10-1 月	協力	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内	市内学校へアーティストが出向き、プログラムを実施	128 (-)	2校5回 (他1校)

							2回中 止)
11	通年	その他	広報事業 「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」「アートヨコハマ」 「横浜画廊散歩」の発行等	—	情報誌3種「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」の発行とホームページでの情報発信を行う。	—	—
12	通年	その他	コレクション管理	—	収蔵庫の環境管理、所蔵品の点検・データ更新、修復、貸出対応等を行う	—	—
13	8-1 月	協力	アウトリーチ事業	市内	近隣施設での出張ワークショップ ・【中止】横浜みなとみらいホールオープンデー ワークショップ「どうぶつお面をつくろう」(8/8) ・【中止】神奈川県立青少年センター子どもフェスティバル ワークショップ「つくって、あそぼう」(1/31)	0 (-)	中止
14	5-6 月	主催	お休み中の展示室に花を咲かせよう！	展示室 B 1 (オンラインでの公開のみ)	花の絵や工作の写真を募集し、プリントアウトしたものを展示室に掲示、展示室の様子を SNS で順次配信。	204	1 事業
15	5-8 月	主催	「横浜市こどもの美術展」未来へつなぐ History&Memory	オンライン	「横浜市こどもの美術展」の思い出やメッセージを募集し、展覧会の歴史とともにホームページで公開。	8	1 事業

(指定管理者が記入する様式)

令和2年度 「横浜市民ギャラリー」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	147,671,000		147,671,000	147,671,000	0	横浜市より
利用料金収入	12,680,000		12,680,000	5,332,382	7,347,618	施設利用料、駐車場利用料
自主事業収入	1,520,000		1,520,000	438,300	1,081,700	入場料、講座料
横浜市による運営支援（休館期間等）	0		0	1,132,000	△ 1,132,000	休館期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援（利用再開後の期間等）	0		0	0	0	利用再開後の期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	2,723,000	0	2,723,000	1,584,366	1,138,634	
印刷代	31,000		31,000	7,070	23,930	
自動販売機手数料	350,000		350,000	58,880	291,120	
その他（助成金・協賛金・広告料等）	2,342,000		2,342,000	1,518,416	823,584	
収入合計	164,594,000	0	164,594,000	156,158,048	8,435,952	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	75,960,000	0	75,960,000	72,332,254	3,627,746	
給与・賃金	64,248,000		64,248,000	60,257,986	3,990,014	
社会保険料	7,971,000		7,971,000	7,795,205	175,795	
通勤手当	1,245,000		1,245,000	1,462,136	△ 217,136	
健康診断費	50,000		50,000	82,646	△ 32,646	
勤労者福祉共済掛金	54,000		54,000	48,000	6,000	
退職給付引当金繰入額	2,392,000		2,392,000	2,686,281	△ 294,281	
事務費	3,356,000	0	3,356,000	5,143,682	△ 1,787,682	
旅費	150,000		150,000	104,433	45,567	
消耗品費	173,000		173,000	559,964	△ 386,964	
会議ठीい費	3,000		3,000	989	2,011	
印刷製本費	150,000		150,000	99,605	50,395	
通信費	710,000		710,000	786,926	△ 76,926	
使用料及び賃借料	783,000	0	783,000	718,920	64,080	
横浜市への支払分	123,000		123,000	122,760	240	
その他	660,000		660,000	596,160	63,840	
備品購入費	0		0	1,736,083	△ 1,736,083	スポットライト、プロジェクター等
図書購入費	28,000		28,000	31,484	△ 3,484	
施設賠償責任保険	33,000		33,000	34,400	△ 1,400	
職員等研修費	10,000		10,000	1,000	9,000	
振込手数料	157,000		157,000	129,580	27,420	
リース料	1,120,000		1,120,000	898,850	221,150	
手数料	3,000		3,000	5,448	△ 2,448	
地域協力費	36,000		36,000	36,000	0	
事業費	18,709,000	0	18,709,000	12,994,442	5,714,558	
自主事業費	18,709,000		18,709,000	12,994,442	5,714,558	
管理費	53,505,000	0	53,505,000	51,797,701	1,707,299	
光熱水費	7,600,000	0	7,600,000	4,866,039	2,733,961	
電気料金	4,850,000		4,850,000	2,916,468	1,933,532	
ガス料金	2,120,000		2,120,000	1,535,614	584,386	
水道料金	630,000		630,000	413,957	216,043	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	600,000		600,000	1,400,212	△ 800,212	
機械警備費	396,000		396,000	396,000	0	
設備保全費	44,909,000	0	44,909,000	45,135,450	△ 226,450	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	473,000		473,000	473,000	0	
電気設備保守	331,000		331,000	410,520	△ 79,520	
害虫駆除清掃保守	1,800,000		1,800,000	2,540,230	△ 740,230	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	42,305,000		42,305,000	41,711,700	593,300	清掃費、設備管理業務、送迎車委託費等
共益費	0		0	0	0	
公租公課	6,751,000	0	6,751,000	6,480,447	270,553	
事業所税	16,000		16,000	0	16,000	
消費税	6,710,000		6,710,000	6,406,600	303,400	
印紙税	20,000		20,000	54,800	△ 34,800	
その他（法人住民税、電波使用料）	5,000		5,000	19,047	△ 14,047	
事務経費（計算根拠を説明欄に	6,313,000	0	6,313,000	6,313,000	0	
本部分	6,313,000		6,313,000	6,313,000	0	
当該施設分			0	0	0	
支出合計	164,594,000	0	164,594,000	155,061,526	9,532,474	
差引	0	0	0	1,096,522	△ 1,096,522	